

教員名	西川 静華	所属学科	経済学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】 このゼミではミクロ経済学とゲーム理論の基礎と応用を学んでもらいたいと思っています。なぜならこれらを身に着ければ世の中の事象の多くを分析することができるからです。というより世の中の見方ががらりと変わって人生までも変わっちゃうかも？</p>			
<p>【どのように学ぶのか】 2年後期と3年前期には主にテキストブックの輪読と議論をしていきますが、常にアンテナを張って卒論のテーマを探してもらいます。サブゼミはできれば週に一回くらい、グループでテーマを決めて自主的に輪読をしてほしいです。他大学、他ゼミとの交流も視野には入っていますが未定です。 3年前期の初めにグループを作って研究テーマを一つ決めてもらいます。なんでもいいです。極東において日本の取るべき外交政策、本を読む人が激減しているいま出版業界や書店はどうやって生き残るべきか、高崎市の食品スーパー業界の動向、ユニクロの企業戦略、最新のゲーム理論の論文を読んでさらに新しいものを作り出す（！？）、本当になんでもいいです。独自性があればあるほどいいです。テーマを決めたら関連する先行研究を調べたりデータを調べたり実際に調べに行ってみたりして分析してもらいます。 4年次には各自で研究テーマを決めて卒業論文を執筆してもらいます。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】 将来もそうですが、ミクロ経済学やゲーム理論のツールを身に着ければすぐに生かせることができます。例えば交渉。バイト料の値上げ交渉でも、喧嘩した彼女との仲直りでも、ゲーム理論を応用できます。就職して営業になったときにも、起業して経営者になったときにも交渉はつきものです。また、マーケティング部に配属されたらミクロ経済学的に市場の分析ができたら大変重宝されるでしょう。 また、ゼミで議論やプレゼンをすることでプレゼンのスキルを磨くことができます。これは社会人になる前に身に着けておくのがいいと思います。 アメリカでの教え子は金融業界を好んで就職していましたが、どの業界でもどの職種でも、どんな人生を歩むにしても、経済学部で学んだことは決して無駄にはならないと思います。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】 なんでもいいから心に響いた本を読むといいと思います。英語の勉強なら観た映画の原作を英語で読むと読みやすいでしょう（ハリーポッター、ダビンチコード等）</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】 年長者が「大学の4年間は長いようで短いから思いっきり楽しみなさい」というのは本当です。大学ではゼミでもサークルでも資格試験勉強でも音楽でも彼氏彼女でもなんでもいいから一生懸命になってください。一生の思い出になります。そしてゼミの仲間も一生の仲間になります。ちなみに私も来月ゼミの同期で集まります。私もいまだに毎年ゼミの同期と集まっています。</p>			